
CFA Newsletter

金融・投資関連 参考情報ニュースレター

No.002 2008 年 Autumn/Winter

Contents

Topics

金融市場の混乱に際しての提言・見解

CFA News & Trend

1. 6つの大学が参加し日本初開催 CFA 協会「インベストメント・リサーチ・チャレンジ」
2. 教育機関と協力し投資プロフェッショナル育成へ
日本で CFA プログラムパートナーが3校誕生
3. ウェルス・マネジメント・フォーラム設立

CFA People

CFA 協会 アジア太平洋地域 新マネージング・ディレクター Asvin Vibhakar, CFA
日本 CFA 協会理事 伊藤敬介

本ニュースレターでは、世界の公正な投資市場をリードする専門資格「CFA® (Chartered Financial Analyst®)」の認定・推進機関である CFA 協会の活動から、情報をお届けいたします。取材の参考資料としてご活用いただくことができれば幸いです。

[本資料に関するお問い合わせ先]

日本 CFA 協会 松原

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-3-8 共同ビル(昭和)
Tel 03-3517-5471/Fax 03-3517-5472

広報事務局(株)ジャパンビーアールビジョン

担当: 千手みほ/福嶋貴徳

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-10-6 御幸ビル
Tel 03-3574-6591/Fax 03-3574-0056
senju@jprv.co.jp/fukushima@jprv.co.jp

金融市場の混乱に際しての提言・見解

1. 市場安定と投資家の信頼回復のため時価評価会計基準を堅持すべき

中川昭一 財務大臣・金融担当大臣に意見書を送付

証券分析及び運用アドバイスにおいて世界的に認められている専門資格 CFA® (Chartered Financial Analyst® = CFA協会認定証券アナリスト、以下 CFA) の認定・推進機関である CFA 協会は、中川昭一 財務大臣・金融担当大臣及び佐藤隆文 金融庁長官にあてた書状を 10 月 23 日に送付いたしました。

この書状は、昨今の金融市場の混乱における、財務省及び金融庁の時価評価会計基準見直しに異を唱え、日本市場の安定化と投資家の信頼獲得に向けて成すべき行動への示唆を述べたものです。CFA 協会の CEO である Jeff Diermeier, CFA 及び同協会アジア太平洋地域マネージングディレクターの Ashvin Vibhakar, CFA が、世界中で投資のプロフェッショナルとして活動する同協会のメンバーを代表して送付したものです。

<書状の概要>

私共 CFA 協会は、日本の金融システムにおいて、時価評価会計基準の見直しは市場の安定に寄与せず、投資家の信頼を損ねるものと考えております。基準の変更は透明性を低下させ、世界が認めてきた基準を損ね、投資家のリスクを増大させ、ひいては資本コストの上昇を招くでしょう。

今回の金融危機は、リスクの過小評価とリスク管理の失敗に起因します。時価評価が、現在の底値以外に多くの要因を基準にすべきであることは十分承知しておりますが、時価評価会計を停止すれば企業業績に覆いがかかり、結果として投資家の信頼を損ね続けるでしょう。

市場が異常なストレスを抱えている時期だからこそ、日本は時価評価会計規則を堅持し、投資家が公正かつ忠実な経済実態の開示を得られるようにし続けるべきです。

2. 混乱市場で投資活動をするための5つのポイント

CFA 協会のメンバー約 98,000 名の 30%は、運用投資のプロフェッショナルとして個人投資家の資産管理を手がけています。個人投資家の資産管理をテーマとする CFA 協会のプライベート・ウェルス・マネジメントの責任者、Stephen Horan, CFA によれば「現在、我々が経験しているような、市場が異常なストレスを抱えている時であっても、投資の主要な原則は健全な指針として貢献する」と述べています。下記の5つの原則を見つめ、信頼できる投資プロフェッショナルのアドバイスに従えば、長期的な投資計画が実を結ぶ助けになるでしょう。

<個人投資家のための5大原則>

1. 自分自身の投資ポリシーを持てば逆風を和らげることができる
2. 自身のリスク対応能力を知れば力強くなる
3. ポートフォリオを様々な証券で構成することでリスクを緩和する
4. 投資の基本原則は安値で購入し高値で売ることである
5. 頻繁な取引は無駄である

原文:CFA Institute Offers Top Five Facts When Investing in Turbulent Markets

http://www.cfainstitute.org/aboutus/press/release/08releases/20080925_01.html

(2008年9月25日)

1. 6つの大学が参加し日本初開催 CFA 協会「インベストメント・リサーチ・チャレンジ」

CFA 協会は、次代の投資プロフェッショナルとしての活躍が期待される学生のさらなる育成を主眼に、企業分析の手腕を競うイベント「グローバル・インベストメント・リサーチ・チャレンジ」を2005年から展開しています。年々、関心が高まり、これまでの3年間で世界各地の約200校の大学から875名が参加しています。

「グローバル・インベストメント・リサーチ・チャレンジ」は、まず国内大会からスタートします。参加する大学を代表して選出された3-5名の学生からなるチーム(1大学1チーム)が指導教官とCFAメンバーによる支援のもと、企業分析を行い調査レポートを作成、そのレポートの内容およびプレゼンテーションの出来栄をCFA協会のメンバーからなる評価チームが評価します。国内大会で1位となったチームは各地域(アジア太平洋地域、米国・カナダ・南米地域、ヨーロッパ・中近東地域)の大会への参加資格を得ます。さらに地域大会で勝ち上がったチームが世界大会に進出、という大会の構成になっています。

日本では、Thomson Reuters社の支援を得て今年初めて開催する運びとなり、目下、参加大学6校から選出された各チームがレポート作成に取り組んでいるところです。日本での参加大学と今後のスケジュールは以下の通りです。日本大会で優勝したチームは、3月にシンガポールで開催されるアジア太平洋大会への参加資格を得ます。

<2008年度 参加校>

大学名(五十音順)	学部	指導教官
慶應義塾大学	経済学部	中妻 照雄 准教授
上智大学	経済学部	斎藤 進 教授
中央大学	商学部	高橋 豊治 教授
一橋大学	商学部	中野 誠 准教授
立教大学	経営学部	亀川 雅人 教授
早稲田大学	商学部	広田 真一 教授

今後のスケジュール概略

2008年11月5日 レポート提出期限

11月14日 一次審査結果発表 (3チームが最終審査に向けてプレゼンテーション準備)

11月28日 プレゼンテーション・最終審査、表彰式

2. 教育機関と協力し投資プロフェッショナル育成へ

日本でCFAプログラム・パートナーが3校誕生

CFA協会では、金融・運用業界をめざす人たちのためにキャリア強化の機会を提供することを主眼に、世界の優秀な教育機関とCFAプログラム・パートナーシップを締結しています。

今年日本で初めて、早稲田大学大学院ファイナンス研究科と一橋大学大学院国際企業戦略研究科、青山学院大学大学院国際マネジメント研究科の3校がプログラム・パートナーとなり、コーネル大

学(米国)、オックスフォード大学、ロンドン・ビジネススクール(英国)などCFA協会とパートナーシップを締結している大学の数は世界で70校を超えました。

CFAプログラムは、世界中で活躍する金融アナリスト、ポートフォリオ・マネージャー、資産運用会社が必要とする能力や職業倫理を高めることに重点が置かれています。そして、金融・運用業界の最も厳正なプログラムとして幅広く認知され、エコノミスト誌やフィナンシャルタイムズ誌に至っては、「ゴールドスタンダード」と言及しています。すなわち、CFAプログラム・パートナーであることは、金融・運用のプロフェッショナルをめざす人たちが企業経営者たちの間で、また市場において、“プロとしてのプラクティスと密接なカリキュラムを提供するCFAプログラムと同等のカリキュラムを有する最適の教育機関”として認定されることを意味します。

パートナーシップの一環として、パートナー校の学生は、CFA協会のカリキュラム、会報、ウェブ・キャストへのアクセスを始めとする様々な学習の機会が得られる他、CFA試験に向けたスカラシップ制度が適用されます。また、会員向けに行なっているセミナー等のイベントを通じて、金融業界のプロフェッショナルとの交流の場にも参加することができます。

プログラム・パートナーシップを締結した3校の責任者の方々は、その意義について下記のように述べています。

「今回のパートナーシップの意義は、グローバルスタンダードといえるCFAに求められている専門性に照らして、我々の教育課程が、プロフェッショナルの世界に適する、レベルの高いものであることを明らかにした点です」

……早稲田大学大学院ファイナンス研究科長(当時)・宇野淳教授

「金融・運用業界をめぐる環境が激変しているなかで、高度な専門的知識と強いリーダーシップを持った人材が以前にも増して強く求められています。このような人材を社会に送り出すという我々の目的が、今回のCFA協会との提携によって、大きく展開してゆくことを期待しています」

……一橋大学大学院国際企業戦略研究科長・竹内弘高教授

「青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科は、グローバルな舞台で活躍できるビジネスパーソンの養成を目的の1つに掲げており、金融・運用業界のグローバルな資格であるCFAの取得を目指す学生も増えつつあります。今回のCFA協会との提携は、当研究科がグローバルな観点から実践的なファイナンス教育を強化する上で大変大きな意義があります」

……青山学院大学大学院国際マネジメント研究科長・高橋文郎教授

日本CFA協会主催 ジョイント・コンファレンス with 早稲田大学

テーマ “Evolving Investment Management: Learning from Diverse Investors”

日時: 2008年12月4日(木) 9:45 ~ 16:45 会場: 早稲田大学日本橋キャンパス

スピーカー(予定): 澤上篤人 (さわかみ投信株式会社、CEO)、
Lawrence E. Kochard (ジョージタウン大学、CIO)
鹿毛 雄二 (企業年金連合会、CIO)
川本裕子 (早稲田大学大学院ファイナンス研究科 教授)
Barton Waring (パークレイズ・グローバル・インベスターズ、CIO)

一般参加費用: 15,000円

* 取材、参考視察をご希望のメディアの方は参加費不要です。事前に広報窓口までお問い合わせをお願いいたします。

プログラム詳細はウェブサイトをご覧ください: www.cfaj.org

3. ウェルス・マネージメント・フォーラム設立

日本の持つ最大の戦略的資源は個人が保有する金融資産です。しかしながら、今日、その資金が効率的に活用されているとは言い難い状況にあります。また、社会・経済 環境や人口構成の推移などを考えると、個人にとってもこの資金を長期的に運用してゆくことはきわめて重要であると言えます。

このような認識に基づき、日本 CFA 協会はこの度、ウェルス・マネージメント・フォーラム (Wealth Management Forum) を日本 CFA 協会内に設立することといたしました。当フォーラムのビジョンは日本の生活者たる個人投資家に正しい投資と資産運用の知識を提供し、個人金融資産を効率的に活用して社会を活性化させることにあります。このビジョンのために、CFA 協会が持つグローバルなネットワーク、知識と経験を活用することで、個人の資産運用という極めて重要な分野でオピニオン・リーダーとなることを目指したいと思えます。

今後、真にグローバルな金融のプロフェッショナル集団として、個人投資家に正しい投資や資産運用の基礎知識と実践方法を直接、間接に広めていきたいと考えています。

代表幹事： 岡本 和久 (I-O ウェルスアドバイザーズ代表取締役社長、日本 CFA 協会名誉会長)

CFA People



Ashvin Vibhakar, PhD, CFA

CFA 協会 アジア太平洋地域マネージング・ディレクター

2008 年 9 月、日本を含むアジア太平洋地域を統括するマネージング・ディレクターに、Jan R. Squires, CFA の後任として就任。ここ数年、CFA の受験者数が増加の一途にある同地域で、各地の投資専門家や企業経営者、教育機関、市場監督機関、政府担当者と定期的なミーティングを重ねながら、受験者の拡大、受験者及び会員へのサービスなど、さらなる拡充を図っていきます。

アーカンソー大学リトルロック校の経営管理学カレッジにおいて、役員や学部長の他、様々な任務を経て 2007 年 9 月 CFA 協会の一員となり、理事会のメンバーとして監査・リスク委員会、渉外及びボランティア対応の任に携わる。CFA 協会に参画する以前にも 11 年に亘り CFA 試験の採点者を務めるなど、CFA 協会の活動にボランティアとして貢献。全米エコノミスト協会、金融経営管理協会、米国ファイナンス学会会員。マハラジャ・サヤジラオ大学(インド・バローダ市)にて電気工学学士、セントラル・ミズーリ州立大学にて経営学修士、アーカンソー大学フェイエットビル校にて金融学博士号を取得。



伊藤 敬介 (いとう けいすけ)、CFA
日本 CFA 協会副会長

<専門分野>

- ・アセットアロケーション手法
- ・証券バリュエーション手法
- ・金融工学全般

CFA を目指した理由は？
資産運用の世界でのグローバルスタンダードとなるような知識を習得したいと思った為。

現在のオンとオフでの関心事は？
<オン> 複数ホライズン、および下方リスク制御も考慮したアセットアロケーション手法。行動ファイナンスに裏付けられた、動的な株式バリュエーション手法。クレジット投資・MBS 投資手法全般。
<オフ> 最近は美味しいオリーブオイルとバルサミコ探しにはまっています。

最近印象に残った書籍は？
少し昔の本になりますが、Emanuel Derman の”My Life as a Quant: Reflections on Physics and Finance”は共感が持てました。

好きな都市・街は？
カナダの Lake Louise やイタリアのカプリ島など、好きな場所は色々ありますが、最終的には東京が一番好きなように思います。

座右の銘は？
常に変化していく世の中なので、「諸行無常」という4文字は意識したりしています。

<略歴>

早稲田大学大学院理工学研究科修了、スタンフォード大学(MBA)修了。日本興業銀行フィナンシャルエンジニアリング部を経て、現在、みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社 投資技術開発部長。日本CFA協会理事、CFA 試験採点員、証券アナリストジャーナル編集委員、現代ファイナンス編集者、早稲田大学大学院ファイナンス研究科非常勤講師。著書に、「アナリスト予想データとアクティブ運用」(1996年度証券アナリストジャーナル賞受賞論文)、「地銀の有価証券運用プロセスを再構築する」(2002、きんざい、共著)など。CFA協会認定証券アナリスト。

CFA 協会 概要

CFA Institute は、CFA® (Chartered Financial Analyst®)および CIPM (Certificate in Investment Performance Measurement)のカリキュラムと試験を世界的に運営しているほか、研究発表、職業能力開発プログラムの実施、投資業界のための倫理に基づく職業規範と業績報告基準の自主的策定を行っている世界的な非営利団体です。133 の国と地域で約 98,000 名のメンバー(約 85,000 名の CFA 資格者を含む)が所属し、また 57 の国と地域に 136 の拠点があります。

<本部>

アジア太平洋地域 香港

米国・カナダ・南米地域 シャーロットビル(米・ヴァージニア州)、ニューヨーク(米・ニューヨーク州)

ヨーロッパ・中近東 ロンドン

<ホームページ・アドレス>

www.cfainstitute.org

「CFA® (Chartered Financial Analyst®)」概要

CFA®は、証券分析及び運用アドバイスにおいて世界的に認められている専門資格で、現在、133 の国と地域に約 85,000 名の資格者がいます。CFA の試験は、複雑化とグローバル化の進む投資運用実務を反映し、極めて高度な水準に照らして受験者を評価するため、この資格を認定されることは、雇用者からも顧客からも大きな敬意を持って受けとめられています。

日本 CFA 協会 (CFA Society of Japan) 概要

日本における CFA 資格者や受験者に対して、専門知識の向上と相互交流の場を提供する非営利組織。倫理規範や職業行為基準、資産運用や調査に関する専門能力の向上と普及をめざし、会員向けに金融市場、財務会計、経済動向などをテーマとした講演会、セミナー、勉強会などを開催しています。また会員相互間の交流会なども行なっています。

所在地:東京都中央区日本橋本町 1-3-8 共同ビル(昭和)6 階

Tel: 03-3517-5471 Fax:03-3517-5472

設立:1999 年

代表者:チャールズ J.ヤン, CFA

ホームページ・アドレス <http://www.cfaj.org>